

7. 縦隔腫瘍

○	○: 専門とするがん ×: 診療を実施していないがん ※別紙5に入力した内容が反映されています。 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要	集学的治療・標準的治療の提供体制 ○: あり ×: なし	○
---	--	---------------------------------	---

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況 (○: 実施可 / ×: 実施不可) / 昨年の実績 (あり/なし) ※平成25年1月1日～12月31日				各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ			
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術	化学療法	放射線療法 体外照射	ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください		掲載されている内容	治療内容	治療実績	医師の専門分野
1 呼吸器外科	1	1	状況 ○ 実績 なし	○	なし	× なし	低侵襲治療としての胸腔鏡下手術を積極的に取り入れるなど、患者さんの術後のQOLの向上に重点を置いた治療に努めています。	ア http://www.irosakahosp.jp/outpatient/kokyu_ki_geka.html イ http://			
2 放射線科	2	1	状況 × 実績 なし	×	なし	○ なし	放射線治療は、がんに対する集学的治療として他の診療科と連携しながら実施します。	ア http://www.irosakahosp.jp/outpatient/ho_shasen.html イ http://			
3			状況 実績					ア http:// イ http://			
4			状況 実績					ア http:// イ http://			
5			状況 実績					ア http:// イ http://			

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	例: 胸腺腫
------------------------------------	--------